

事例 2 1 大分トリニータ

取組内容

◆実施主体

大分トリニータ（Jリーグクラブチーム）

◆ねらい

○活動理念

- 1 スポーツを通じた地域貢献・スポーツの普及
- 2 世界に通用するクラブづくり
- 3 夢は必ずかなう、そして夢への挑戦

地域に親しまれるプロサッカーチームのブランドとノウハウを有効に活用しながら、子どもたちにスポーツをする機会と食事の重要性を提供し、健全な育成と人間形成への寄与を視野に入れていきたいと考え実施。

◆実施内容

- 運動プロジェクト
- 交流給食

◆運動プロジェクト

申請があった小学校に対して、夏休みの早朝に各小学校へトリニータのスタッフが出向き、子どもたちに運動する楽しさを伝えました。運動後は、子どもの健全な育成を図ると同時に、生活リズムの向上に寄与するため、栄養補充として牛乳を配布しました。

効果・結果

最も生活習慣が変化しやすい夏休みの早朝に、子どもの規則正しい生活リズムの向上を目的とした運動プロジェクトを行うことにより、自発的に子どもたちが早く起きる環境を創出しました。



○スケジュール

8:30	運動の時間 ※いろいろな道具を使ってのボール遊びやグループでの運動
9:00	ニータンの触れ合い ※トリニータのチームマスコット「ニータン」との触れ合い
9:20	エンディング&記念撮影

◆交流給食

毎月、食育の日に大分市と共に、大分市内の小学校の給食時間に選手が訪問しました。選手の口から食事の重要さや規則正しい生活を送る重要さを伝えてもらいました。

効果・結果

憧れのJリーガーから直接聞く話は、子どもたちの心へ届きやすく、子どもはすぐに真似、実行します。選手から子どもへの自発的な行動の働きかけは大きな効果が期待でき、Jリーガーが与える影響は絶大だと考えられます。



○スケジュール

12:00	学校訪問
12:20	クラスの交流給食 ※好き嫌いをしないことや、三食しっかりご飯を食べることについて話しながら子どもたちと共に給食を食べる。
13:00	交流会 ※子どもたちとの対話を大事にし、質疑応答などでコミュニケーションを図る。最後に、選手の口から食事の大切さや規則正しい生活を送ることを早寝早起き朝ごはんのフレーズが入ったコメントで子どもたちへ伝える。
13:50	記念撮影

~担当者からの声~
取組を実施して

(株)大分フットボールクラブ ホームタウン課 豊東 和夫さん

実施にあたり、当日の映像や新聞記事にあまり多く報道されませんでした。より多くのメディアへ事前報告をして、大分県でのニュースにもっと取り上げて頂けるように工夫すれば良かったと思います。

また、今回はクラス一組の子供達が選手との触れ合いの対象となっており、学校全体や、学年ごとでも実施ができるように工夫したいと考えます。

今後はこのような活動がリレー方式で行なえればと願っています。

◆詳しく知りたい方は→株式会社大分フットボールクラブ

TEL : 097-554-2250 FAX : 097-554-2280

HP : http://www.oita-trinita.co.jp/2009_index.html